

昼生小だより

令和元年12月23日 No.15

明日から冬休み

本日、2学期の終業式を行いました。全校稲刈り、昼生地区ふれあい大運動会、亀山市小中学校音楽会、修学旅行、社会見学、人権フォーラム等々たくさんの大きな行事があった2学期でした。様々な取組を通して子どもたちの成長を感じた2学期でもありました。地域の皆様、保護者の皆様には、多方面からご協力をいただきましてありがとうございました。

明日から冬休みが始まります。年末年始を挟むこともあり、子どもたちにとっては楽しいイベントがたくさん待っているのではないのでしょうか。地域の方や家族と一緒に過ごす時間も多くなることでしょう。健康に留意し、有意義な冬休みをお過ごしください。



認知症キッズサポーター誕生



12月18日に、6年生が「認知症キッズサポーター養成講座」を受講しました。この講座は、亀山市の健康福祉部が、高齢者や認知症に対する理解を深め、見守りや手助けをして、当事者やその家族を応援する「認知症キッズサポーター」を養成するという目的で開催しているものです。

当日は、地域包括センターの方が講師として来てくださいました。高齢者や認知症について教えていただいたり、DVDを見て「こんなときはどうしたらよいか」を話し合ったりしました。

受講後は修了証とオレンジリングをいただきました。周りに困っている人がいたとき、優しく声をかけたり、自分にできる手助けをしたりすると、きっとその人は安心してくれるでしょう。



嬉しい電話がありました

12月17日、地域の方から電話をいただきました。通勤途中に、信号のない道路を横断しようとする子どもたちに出会ったそうです。その方は、車を停めて子どもたちが横断歩道を渡るのを見届けてくださいました。そのとき、集団の後ろにいた子が車の方を振り返り、ぺこりとお辞儀をしたそうです。その様子を見て「朝からとても温かい気分になりました」とおっしゃっていました。当たり前前のことが当たり前前にできること、それは簡単なようで難しいことでもあります。電話を切った後、その時の光景が目には浮かび、こちらもとても温かい気分になりました。このように、子どもたちが地域の方々に見守られていることを大変嬉しく思います。

人権標語を紹介します



* 標語の意味をより理解するため、そこに込められたそれぞれの思いも併せて紹介します。

〈6年生〉

・だれだって一人での悲しいよ だから一人にさせちゃだめ

〈私は一人でいることがある。一人でいるのはさびしい。だから私は一人でいる子に自分から声をかけたい〉

・助け合い 絆深める 第一歩

〈助け合う時は誰もが笑顔になれる。その笑顔が絆を深める第一歩になる。私は、助け合うことで、友だちともさらに絆を深めたい。〉

・気づいてよ 君のとなりに かけがえのない友達がいる事を

〈私が一人で悩んでいる時、友だちがそばにいて、一緒に考えてくれた。自分にはとても大切に頼れる友達がいる事に気づけた。その友達を大事にしたい。〉

・表情だけじゃ伝わらないこと 声に出そう

〈何かに悩んでいるのか、いやなことがあったのか、表情だけだとわからない。私は、声に出してもらい、何かあったか聞けるようにしたい。〉

・人は皆 自由に生きる 権利がある

〈はだの色や見た目だけで人を決めつけ、「みんなとちがうから」といじめる人がいる。私は、見た目で判断するのはちがうと思う。人はみんな自由に生きられる。〉

・助け合い お礼を言われて いい気分

〈助け合いをすると「ありがとう」とお礼を言われてとってもいい気分になる。私も、手伝った時にお礼を言われていい気分になったことがある。〉

・言葉遣い 暴力よりも 傷がつく

〈私は人が傷つくようなことを言ったことがある。その人はすごく悲しそうな表情だった。もう、人がいやがることは言わないでおこうと思う。〉

・関係ないって 見て見ぬふりでは 済まされない

〈いじめを見て「私には関係ない」と自分に言い聞かせ、いじめと向き合ってこなかった。人権フォーラムで話を聞いて、自分もきちんと向き合わないと…と思った。〉

・笑顔を増やす 魔法の言葉で 心の輪

〈笑顔や魔法の言葉（あいさつや感謝の気持ちの言葉）があれば、お互い仲良くなれる。仲良くなったら心の輪が生まれると思う。これから、相手の気持ちを理解して心の輪を作りたい。〉

・その言葉 生かすかどうかは あなた次第

〈言葉で人はすぐに傷ついてしまう。「生かす」とは人を傷つけないこと。言葉遣いには本当に気をつけたい。〉

・いつまでも 続いてほしい 平和で平等な世界

〈最近のニュースを見たり、歴史を学んだりして、平和で平等な世界は当たり前ではないことを知った。私は、平和で平等な世界にするために自分の知識を増やそうと思う。〉

・「大丈夫？」 その一言で あの子も笑顔

〈私が少し落ち込んでいた時に、友達が「大丈夫？」と声をかけてくれた。このたった一言がとてもうれしかった。一人でいる子に、この一言だけでも声をかけてほしい。〉

・その一言が 相手の心を刺す いやなことに

〈私は、つい言い過ぎてしまうことがある。それをなくすよう心がけたい。屋生小学校の中でも言葉遣いがよくなってほしい。〉

・どんなに辛い事があっても 一つの道を開けば 幸せへと変わる

〈「辛い」という字に一本足せば「幸せ」に変わる。どんなに辛くても、何か一つ成しとげれば幸せが待っている。これをヒントに、辛い人が幸せになってほしい。そして、私は人のためになることをしたい。〉

・差別する 何がそんなに 楽しいの？

〈いじめや差別をしている人に、「なぜするのか」と聞くと、「楽しいから」という答えが返ってきた。なぜ楽しいのかわからない。ひどいことだと思う。〉

・私たち 立場は違えど みんな平等

〈立場は違って、差別はいけない。平等でないといけない。〉